

# 海老名市教育委員会

(平成27年 9月 定例会議事日程)

日時 平成27年 9月24日(木)

午後 2時00分

場所 海老名市役所401会議室

教育長報告

日程第 1 議案第 20 号 平成 2 7 年度全国学力・学習状況調査の公表及びその方法  
について

# 海老名市教育委員会

## 平成27年 9月定例会

### ◇教育長報告

#### 1 主な事業報告

- |          |   |
|----------|---|
| 8月21日(金) | 8月定例教育委員会   |
| 24日(月)   | ひびきあう教育研究発表大会                                     |
| 25日(火)   | 有馬中学校区小中一貫教育合同研修会<br>特別支援教育研修会Ⅲ                   |
| 26日(水)   | 教育課程検討委員会   |
| 27日(木)   | CCC本社訪問<br>連合運動会実行委員会                             |
| 28日(金)   | 学校予算要望ヒアリング<br>校長との連絡会<br>小中一貫教育実施委員会<br>臨時最高経営会議 |
| 9月 1日(火) | 朝のあいさつ運動(上星小)<br>市議会第3回定例会 開会                     |
| 3日(木)    | 代表質疑ヒアリング<br>9月校長会議                               |
| 4日(金)    | 図書館指定管理者打合せ                                       |
| 5日(土)    | ひびきあい塾  |
| 6日(日)    | オアシス運動ポスターコンクール審査会                                |
| 7日(月)    | 市議会第3回定例会 代表質疑                                    |
| 8日(火)    | 知多市教育委員会プール等視察                                    |
| 9日(水)    | 一般質問答弁ヒアリング                                       |
| 10日(木)   | 学校応援団連絡会・研修会                                      |
| 11日(金)   | 図書館指定管理者打合せ                                       |
| 15日(火)   | 学力学習状況調査市結果分析説明会                                  |
| 16日(水)   | 教育課題研究会<br>歴史絵手紙審査会                               |

17日（木） 市議会第3回定例会 一般質問  
18日（金） 市議会第3回定例会 一般質問  
19日（土） 5中学校体育祭  
図書館指定管理者打合せ  
23日（水） 神奈川民舞大会  
24日（木） 9月定例教育委員会  
図書館視察  
小学校十五夜豆腐寄贈配布

2 市議会第3回定例会 一般質問より

このことについては、教育課題研究会で事前に質問内容等について説明させていただきましたが、17日、18日の両日に行われましたので、その中から、今後、教育委員会として、私の職として、課題とすべき点について意見を伺います。

○子ども・若者支援策について

○学童保育の支援について

○障害児（者）への取組について

○海老名市立中央図書館について

この他にも、「学力向上」「不登校・いじめ対策」「社会教育の充実」などの課題についても、今後、協議していきたいと考えています。



議案第20号

平成27年度全国学力・学習状況調査の公表及びその方法について

別紙のとおり、平成27年度全国学力・学習状況調査の公表及びその方法について、議決を求める。

平成27年9月24日提出

海老名市教育委員会  
教育長 伊藤 文 康

提案理由

今年度の全国学力・学習状況調査の公表方法について決定したいため

## 平成27年度全国学力・学習状況調査の公表及びその方法について

### ◆公表の目的

- ① ひとりひとりの児童・生徒が、自分自身を改善する。
- ② 学校が指導の改善に生かす。
- ③ 海老名市教育委員会が教育施策の改善に生かす。
- ④ 保護者・市民に公表し、学習習慣や生活習慣の改善に向けて協力を得る。

### ◆公表の方法

#### ≪ 市全体の結果 ≫

- ・ 平均正答率や分布、質問紙の結果を、全国・県との比較で、数値や文章で表記する。
- ・ 平成26年度の結果との比較を記載する。
- ・ 分析とともに今後の具体的な施策を記載する。
- ・ 地域や家庭と協力して取り組むことを記載する。
- ・ 市のHPにて公表する。(印刷物での配布はしない)
- ・ 「結果概要」「ダイジェスト版」を作成し、公表する。

#### ≪ 各校の結果 ≫

- ・ 全校同じ構成で公表するが、様式・内容については学校裁量とする。
- ・ 平均正答率は記載せず、文章で表記する。
- ・ 分析とともに今後の具体的な指導改善策を記載する。
- ・ 家庭との協力について記載する。
- ・ 冊子で全家庭に配布する。
- ・ 市のHPにて公表する。

平成27年9月24日  
定例教育委員会資料  
教育指導課教育指導係

# 平成27年度 全国学力・学習状況調査

## 海老名市結果公表様式 (案)

\*数値やグラフ、分析等の内容は平成26年度のものです

海老名市教育委員会

# 小学校国語A (主として「知識」に関する問題)

平成27年度  
全国学力・学習状況調査

## 問題の趣旨

国語に関する学習内容のうち、これからの学習や生活をする上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力について調べる問題です。漢字、故事成語、言葉の意味や使い方、文章の読み取りなどが出題されています。

## 全体の正答率

\* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

平均正答率は全国と比較して  
2.2%下回っています

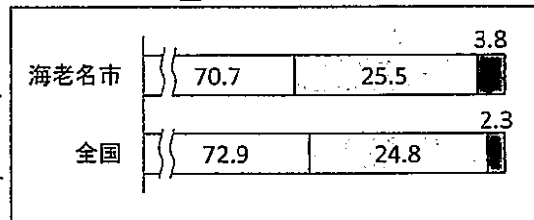
《平均正答率(%)》

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
国語A	70.7	71.3	72.9	-2.2

誤答の様子は…

《誤答の内訳(%)》

正答     誤答(書いたが誤答だった)  
 無解答(何も書かなかった)

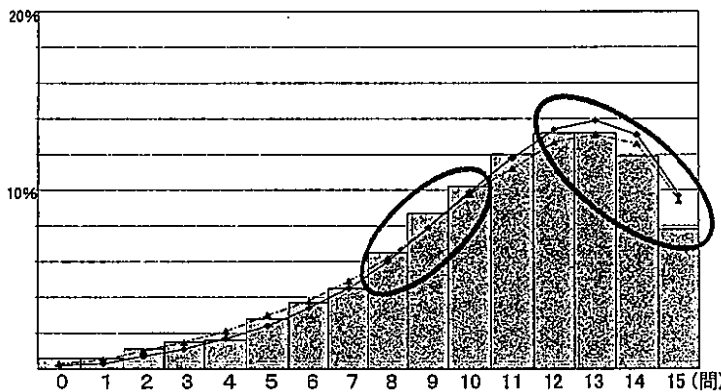


無解答率(何も書かなかった)は3.8%でした。

分布の様子は…

《正答数による分布》

海老名市     神奈川県     全国



全国と比較すると  
正答数が8~10問の児童が多く  
12問以上の児童が少ない  
ことがわかります

\* 正答率50%以下(0~7問)の児童の割合は16.5%でした。(全国は14.2%)

\* 正答率80%以上(12~15問)の児童の割合は46.1%でした。(全国は50.3%)

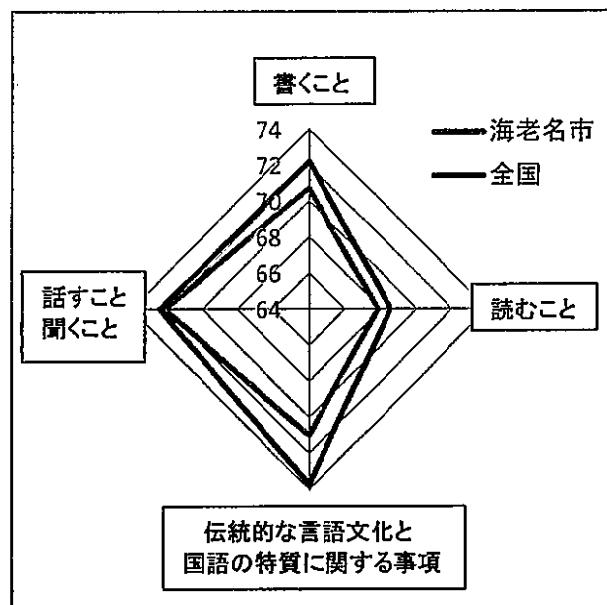
## 領域別の正答率

全領域において全国と比較して  
やや下回っています

	海老名市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	72.1	72.4	-0.3
書くこと	70.7	72.2	-1.5
読むこと	67.8	68.5	-0.7
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	71.0	73.7	-2.7

\* 「話すこと・聞くこと」については、ほとんど差がありませんでした。

\* 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、2.7%下回っていました。



## 内容について

\* ( )内は、平均正答率の全国との比較

全国を上回った項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登場人物の心情を正しく理解し、情景描写で適切なものを選ぶ。(＋2.2)</li> <li>○ 物語の会話から、登場人物の関係をとらえる。(＋0.7)</li> </ul>
-----------	--

全国を下回った項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 故事成語の意味と使い方(五十歩百歩、百聞は一見にしかず)(-4.9)</li> <li>○ 漢字を読む。(勢い)(-4.7) 漢字を書く。(祝う)(-4.4)</li> <li>○ 言葉の意味を読んで、文章にあてはまるものを選ぶ。(計る、測る、量る、図る)(-4.4)</li> </ul>
-----------	--

### 国語Aで平均正答率が全国を下回った設問の例

故事成語の使い方として最もふさわしいものを選ぶ設問 (全国との比較-7.5%)

「五十歩百歩」

- 1 姉と私は、残りのケーキをどちらが食べるのかでもめていた。すると、母が私たちを注意してもめごとに関係のない弟に食べさせた。弟にとっては、五十歩百歩だ。
- 2 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗ドッジボール大会での優勝をめざして、ほかの学級よりもずっと前から練習を始めた。だから、優勝できたのは、五十歩百歩だ。
- 3 山口さんと川島さんが、学校で出された宿題を五回忘れたのか、六回忘れたのかで言い争っていた。このようなことで言い争う二人は、五十歩百歩だ。

正答 3

☆国語Aのすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

## 考察

- ◆ 全国と比べて、正答数が12問以上の児童が少なく、正答数が8～10問の児童が多いことから、基礎的な力を確実に身につけさせる必要がある。
- ◆ 漢字の読みと書きについては、多くの児童ができているものもあるが、定着の状況に差があり、確実に身につけるための指導の工夫が求められる。
- ◆ 故事成語の意味や使い方を理解することに課題があり、学習した言語の定着を図る必要がある。

## 平成26年度との比較

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
平成26年度	70.7	71.3	72.9	-2.2
平成27年度				

## 指導の改善にむけて

- ◆ 「基礎基本となる学力を定着させる」ために
  - つまづきやすい学習項目を整理し、指導する。
  - 学力の定着度に応じて、反復練習等により指導する。
- ◆ 「故事成語や漢字など、言葉の意味や使い方の理解と定着」のために
  - 生活の中で、故事成語や学習した漢字を活用できるように指導する。
  - 国語辞典を使って言葉の意味や使い方などを調べることを習慣づけるように指導する。



# 小学校国語B (主として「活用」に関する問題)

平成27年度  
全国学力・学習状況調査

## 問題の趣旨

国語に関する学習内容のうち、身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力について調べる問題です。話し合いや調べ学習などの身近な場面をとおして、話し合いの観点や疑問点をとらえる、まとめる、比べる、考えを持つ、表現するなどの問題が出題されています。

## 全体の正答率

\* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

平均正答率は全国と比較して  
2.3%下回っています

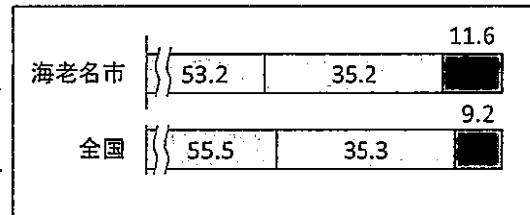
《平均正答率(%)》

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
国語B	53.2	54.6	55.5	-2.3

誤答の様子は…

《誤答の内訳(%)》

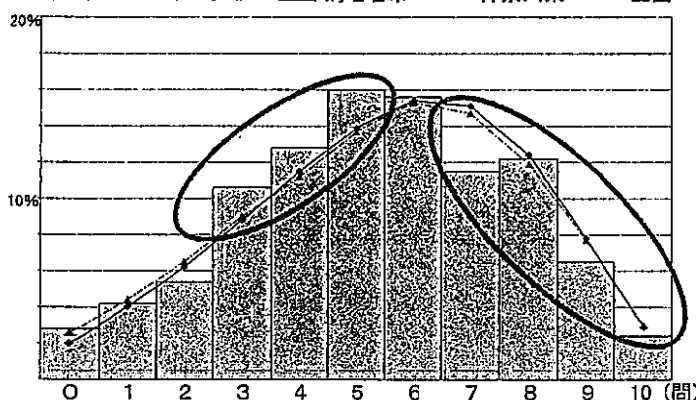
■ 正答 □ 誤答(書いたが誤答だった) ■ 無解答(何も書かなかった)



無解答率(何も書かなかった)は11.6%でした。

分布の様子は…

《正答数による分布》



全国と比較すると  
正答数が3~5問の児童が多く  
7問以上の児童が少ない  
ことがわかります

\* 正答率50%以下(0~5問)の児童の割合は51.8%でした。(全国は46.2%)

\* 正答率80%以上(8~10問)の児童の割合は21.0%でした。(全国は23.4%)

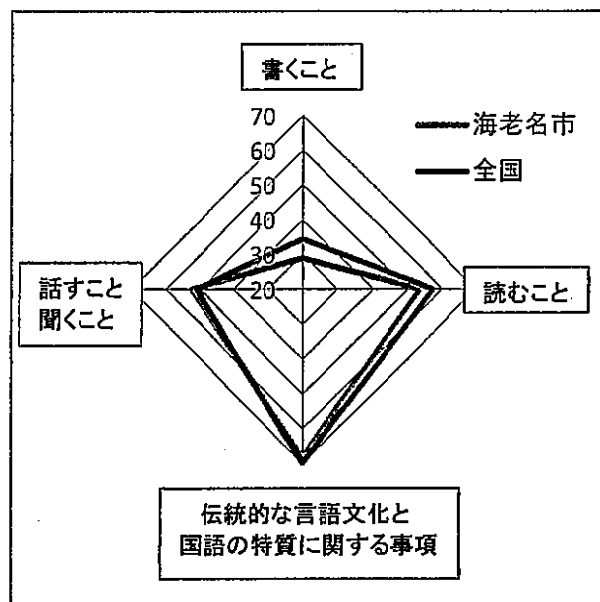
## 領域別の正答率

「話すこと・聞くこと」が  
全国をやや上回っています

	海老名市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	52.8	51.2	+1.6
書くこと	28.9	34.4	-5.5
読むこと	53.4	57.3	-3.9
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	68.0	69.8	-1.8

\* 「話すこと・聞くこと」については、1.6%上回っていました。

\* 「書くこと」については、全国的に正答率が低い状況ですが、さらに5.5%下回っていました。



## 内容について

\* ( )内は、平均正答率の全国との比較

全国を上回った項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話合いの場面で、2人の発言に共通する部分を考えて書く。( +4.2)</li> <li>○ 話合いの場面で、質問者が何をねらって質問しているのかを考えて選ぶ。( +2.8)</li> </ul>	全国を下回った項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2つの詩を読み、共通点や相違点などに着目して80～100字で考えを書く。( -10.8)</li> <li>○ 読み物からわかったことや疑問を整理し関連づけながらまとめて書く。( -3.7)</li> <li>○ 読み物を読んでまとめたメモを見ながら疑問点を15～40字で書く。( -3.5)</li> </ul>
-----------	--	-----------	--

### 国語Bで平均正答率が全国を下回った設問の例

2つの詩を読み比べて、自分の考えを書く設問 (全国との比較-10.8%)

\* 2つの詩「タンポポ」「たんぽぽさんがよんだ」(まど・みちお著)を読んで

あなたは、【詩1】と【詩2】を比べて読んで、どのようなことを考えましたか。次の条件にあわせて書きましょう。

(条件)

- 詩の内容や表現の仕方などについて、共通点やちがう点を取り上げて書くこと。
- 「たんぽぽ」と「まど・みちお」の両方の言葉を使って書くこと。
- 八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

正答は省略

☆国語Bのすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

## 考察

- ◆ 全国と比べて、正答数が7問以上の児童が少なく、3～5問の児童が多いこと、また、後半の設問ほど無解答率が高いことから、読むこと、書くことの高める必要がある。
- ◆ 話すこと・聞くことの領域において、話合い活動に関する設問の正答率が高く、授業での取組の成果が見られる。
- ◆ 文章を書くことを難しいと思っていないが、条件に合わせて適切に書くことに課題があり、その能力を高める必要がある。

## 平成26年度との比較

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
平成26年度	53.2	54.6	55.5	-2.3
平成27年度				

## 指導の改善にむけて

- ◆ 「読むことの指導を充実させる」ために
    - 学校図書館などを活用して、読書活動の充実を図る。
    - 目的に応じて、文章の内容を的確にとらえて読む力を指導する。
  - ◆ 「書くことの指導を充実させる」ために
    - 日常的に、自分なりの意見や考えを文章にまとめるように指導する。
    - 目的や字数などの条件にあわせて文章を書くことを指導する。
- ※ 日常生活の中で繰り返し、読むことや書くことについて取り組む。

# 小学校理科 (主として「知識」に関する問題)

## 小学校理科 (主として「活用」に関する問題)

平成27年度  
全国学力・学習状況調査

### 問題の趣旨

#### 《主として「知識」に関する問題》

理科に関する学習内容のうち、これからの学習や生活をする上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力について調べる問題です。器具の名称や扱い方、月の形や星座の動き、水蒸気の理解などが出題されています。

#### 《主として「活用」に関する問題》

理科に関する学習内容のうち、身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力について調べる問題です。身近な事象について実験や観察の方法を考える、結果を予想する、実際に出了結果を考察する問題が出題されています。

### 全体の正答率

\*平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

#### 平均正答率は全国と比較して

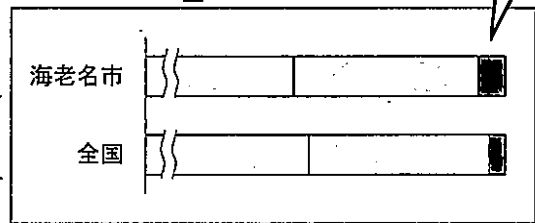
##### 《平均正答率(%)》

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
理科				

誤答の様子は…

##### 《誤答の内訳(%)》

□ 正答 □ 誤答(書いたが誤答だった)  
■ 無解答(何も書かなかった)

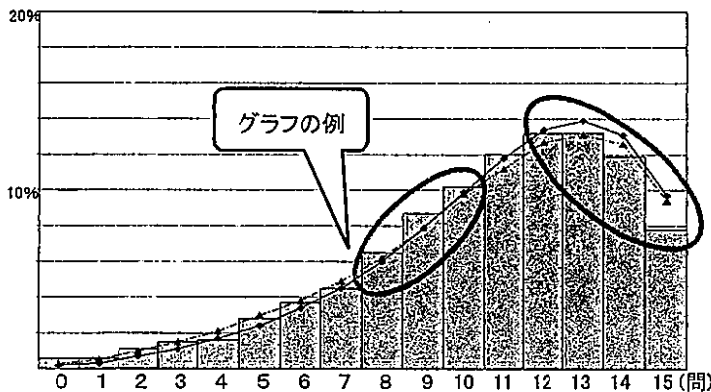


グラフの例

無解答率(何も書かなかった)は %でした。

##### 《正答数による分布》

□ 海老名市 ● 神奈川県 ◆ 全国



グラフの例

全国と比較すると  
正答数が 問の児童が多く  
問以上の児童が少ない  
ことがわかります

\*正答率50%以下(0~ 問)の児童の割合は %でした。(全国は %)

\*正答率80%以上( ~ 問)の児童の割合は %でした。(全国は %)

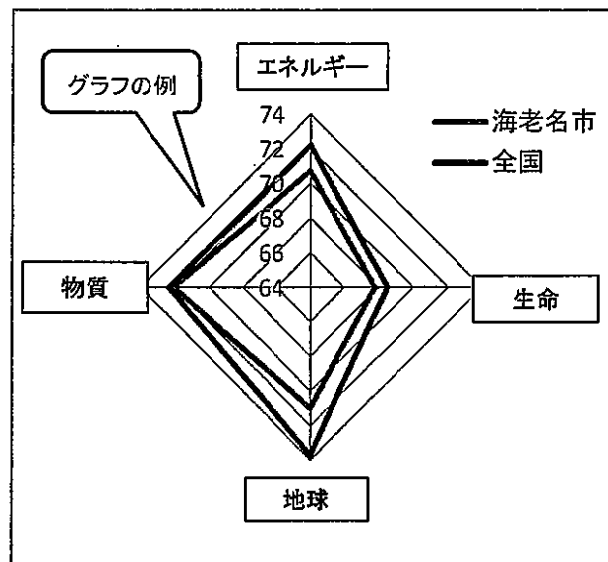
### 領域別の正答率

#### 全領域において全国と比較して

	海老名市	全国	全国との比較
物質			
エネルギー			
生命			
地球			

\* 「 」については、

\* 「 」については、



グラフの例

— 海老名市  
— 全国

## 内容について

\* ( )内は、平均正答率の全国との比較

全国を上回った項目	
-----------	--

全国を下回った項目	
-----------	--

理科で平均正答率が全国を下回った設問の例

☆理科のすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

## 考察

- ◆
- ◆
- ◆

## 指導の改善にむけて

◆ 「 」ために

- 
- 

◆ 「 」のために

- 
-

# 中学校国語 A (主として「知識」に関する問題)

平成27年度  
全国学力・学習状況調査

## 問題の趣旨

国語に関する学習内容のうち、これからの学習や生活をする上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力について調べる問題です。漢字、故事成語、言葉の意味や使い方、話し合い活動の仕方、文章の読み取り、書写などが出題されています。

## 全体の正答率

\* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

平均正答率は全国と比較して  
1.4%上回っています

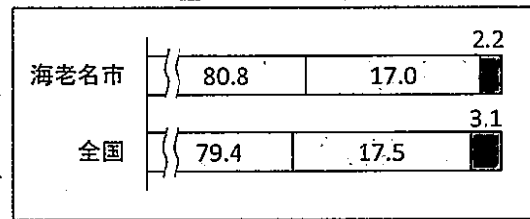
《平均正答率(%)》

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
国語A	80.8	79.2	79.4	+1.4

誤答の様子は…

《誤答の内訳(%)》

■ 正答 □ 誤答(書いたが誤答だった) ■ 無解答(何も書かなかった)

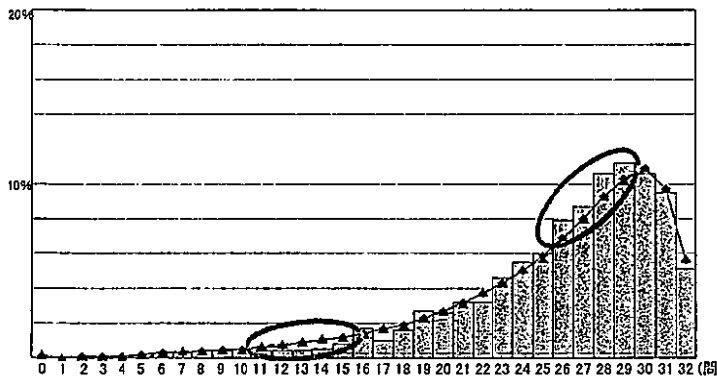


無解答率(何も書かなかった)は2.2%でした。

分布の様子は…

《正答数による分布》

■ 海老名市 ▲ 神奈川県 ◆ 全国



全国と比較すると  
正答数が26~29問の生徒が多く  
11~15問の生徒が少ない  
ことがわかります

\* 正答率50%以下(0~16問)の生徒の割合は  
6.0%でした。(全国は8.2%)

\* 正答率80%以上(26~32問)の生徒の割合は  
63.5%でした。(全国は61.8%)

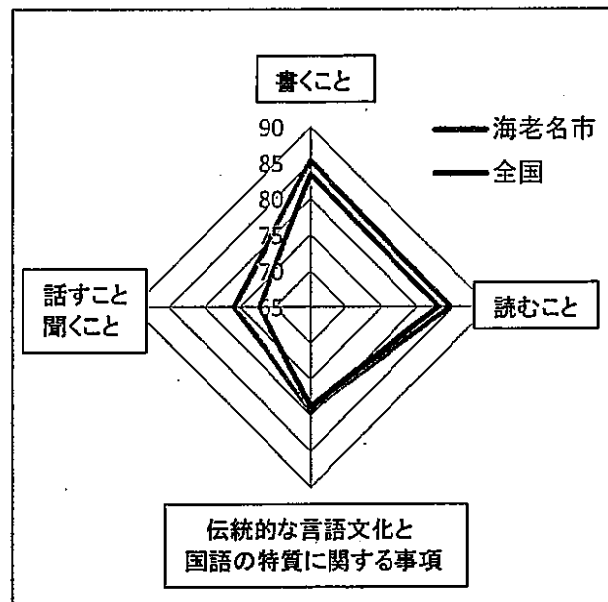
## 領域別の正答率

全領域において全国と比較して  
やや上回っています

	海老名市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	75.8	72.3	+3.5
書くこと	85.3	83.4	+1.9
読むこと	84.5	82.9	+1.6
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	79.3	78.7	+0.6

\* 「話すこと・聞くこと」については、3.5%上回っていました。

\* 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、ほとんど差がありませんでした。



## 内容について

\* ( )内は、平均正答率の全国との比較

全国を上回った項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目的に沿って話し合い、互いの発言を検討する。(＋4.7)</li> <li>○ 話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす。(＋4.6)</li> <li>○ 文章全体と部分との関係を考え、内容を理解する。(＋3.7)</li> </ul>
-----------	--

全国を下回った項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字を書く。(半径) (－4.5)</li> <li>○ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む。(－1.5)</li> <li>○ 集めた材料を分類するなどして整理する。(－1.4)</li> </ul>
-----------	---

### 国語Aで平均正答率が全国を下回った設問の例

文脈にあわせて漢字を正しく書く設問

○ 次の文中の \_\_\_ 部のカタカナを漢字に直し、楷書でていねいに書きなさい。

1 地域の人を <u>ショウタイ</u> する。 (全国との比較+2.0)	正答	招待
2 円の <u>ハンケイ</u> を求める。 (全国との比較-4.5)	正答	半径
3 計画を行動に <u>ウツ</u> す。 (全国との比較-1.0)	正答	移

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む設問

○ ねずみの、おすめをまうけて、

\_\_\_線部「まうけて」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。 正答 もうけて

☆国語Aのすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

## 考察

- ◆ 全国と比べて、正答数が26～29問の生徒が多く、11～15問の生徒が少ないことが、平均正答率が高いことにつながっている。
- ◆ ほとんどの設問において無解答率が全国と比べて低いことから、設問に粘り強く取り組む姿勢が見られる。
- ◆ 漢字や歴史的仮名遣いの習得に課題があり、学習した言語の定着を図る指導が必要である。

## 平成26年度との比較

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
平成26年度	80.8	79.2	79.4	+1.4
平成27年度				

## 指導の改善にむけて

### ◆ 「漢字を確実に習得する」ために

- 日常的に、習得した漢字を文章の中で適切に使うように指導する。
- 読書活動を充実させるとともに、優れた文章などを書き写す活動などを取り入れ、指導する。

### ◆ 「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む」ために

- 歴史的仮名遣いで書かれた文章を音読したり、書き写したりする活動を取り入れ、指導する。

## 問題の趣旨

国語に関する学習内容のうち、身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題です。表現の技法とその効果、複数の資料を比較して読むこと、説明的文章を読み根拠を明確にして自分の考えを書くことなどが出題されています。

## 全体の正答率

\* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

平均正答率は全国と比較して  
0.8%上回っています

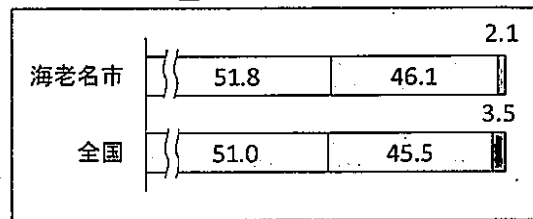
《平均正答率(%)》

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
国語B	51.8	51.5	51.0	+0.8

誤答の様子は…

《誤答の内訳(%)》

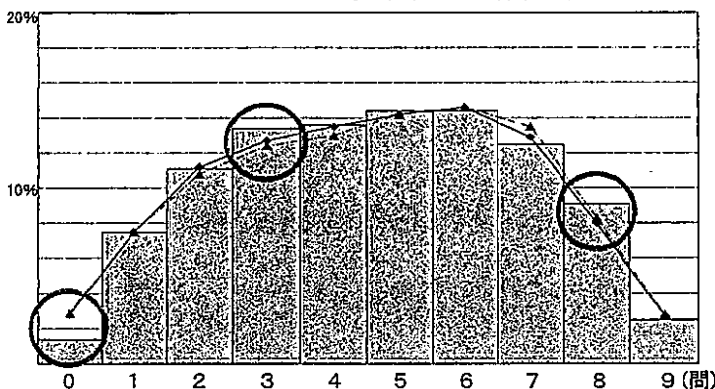
■ 正答 □ 誤答(書いたが誤答だった) ■ 無解答(何も書かなかった)



無解答率(何も書かなかった)は2.1%でした。

分布の様子は…

《正答数による分布》



全国と比較すると  
正答数が3問、8問の生徒が多く  
正答数が0問の生徒が少ない  
ことがわかります

\* 正答率50%以下(0~4問)の生徒の割合は47.1%でした。(全国は46.7%)

\* 正答率80%以上(8~9問)の生徒の割合は11.6%でした。(全国は11.2%)

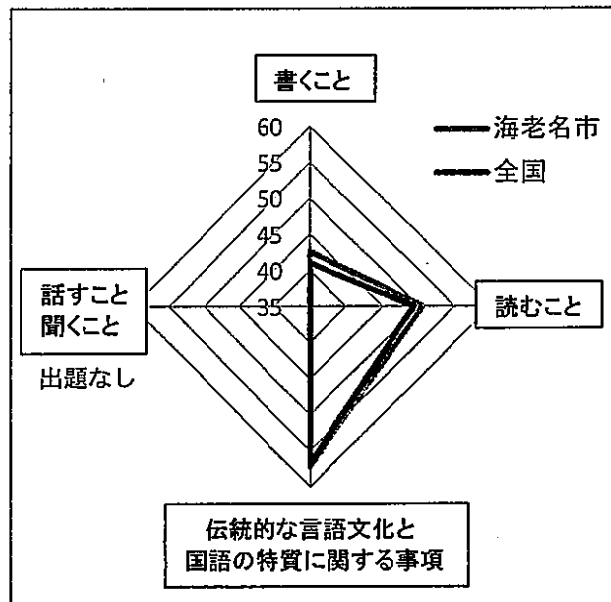
## 領域別の正答率

全領域において全国と比較して  
やや上回っています

	海老名市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	この領域は今年度出題なし		
書くこと	42.6	41.0	+1.6
読むこと	50.5	49.2	+1.3
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	57.2	56.8	+0.4

\* 「書くこと」については、全国的に正答率が低い状況ですが、1.6%上回っていました。

\* 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、ほとんど差がありませんでした。



## 内容について

\* ( )内は、平均正答率の全国との比較

全国を上回った項目	○ 複数の情報から必要な情報を読み取る。(+5.0)
	○ 落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書く。(+4.0)
	○ 落語に登場する人物の言動の意味を考え、その姿を想像する。(+2.5)

全国を下回った項目	○ 表現の技法について理解する。(−3.7)
	○ 文章に表れているものの見方について、自分の考えをもつ。(−2.1)

### 国語Bで平均正答率が全国を下回った設問の例

表現の技法として適切なものを選択する設問 (全国との比較−3.7)

○「読書週間」の標語を整理した【早川さんのノート】(一部)を読んで答えなさい。

【早川さんのノート】

・風もページをめくる秋

(表現の工夫とその効果) →  を使って、情景を豊かに想像できるようになっている。  
また、体言止めが使われ、秋が強調されている。

【早川さんのノート】の  に入る言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 反復法      2 対句法      3 擬人法      4 倒置法      正答 3

☆国語Bのすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

## 考察

- ◆ 全国と比べて、すべての設問において無解答率が低いこと、また、正答数が0問の生徒が少ないことから、設問に粘り強く取り組む姿勢が見られる。
- ◆ 説明的な文章の読み取りにおいては、資料から必要な情報を的確に読み取ることができているが、文章の内容について自分の考えを持つことには課題が見られる。
- ◆ 表現の技法を理解して文章を書く力や、根拠を明確にして論理的な文章を書く力を高める必要がある。

## 平成26年度との比較

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
平成26年度	51.8	51.5	51.0	+0.8
平成27年度				

## 指導の改善にむけて

### ◆「表現の技法の理解」のために

- 習得した技法を活用して文章を書くように指導する。
- 活用した技法の効果を生徒どうして確かめ合う活動を取り入れ、指導する。

### ◆「根拠を明確にして論理的な文章を書く」ために

- 文章中の言葉を使い、筋道を立てて自分の意見を書くことができるように指導する。
- 説明的な文章において、文章構成に着目し、論理の展開を読み取るように指導する。



# 中学校理科 (主として「知識」に関する問題) (主として「活用」に関する問題)

平成27年度  
全国学力・学習状況調査

## 問題の趣旨

### 《主として「知識」に関する問題》

理科に関する学習内容のうち、これからの学習や生活をする上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力について調べる問題です。化学式、濃度、天気図の読み取り、電流と抵抗、物質や動物の名称などが出題されています。

### 《主として「活用」に関する問題》

理科に関する学習内容のうち、身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力について調べる問題です。身近な事象の実験について、条件や方法を考える、仮説をたて結果を予想する、結果を考察するなどの問題が出題されています。

## 全体の正答率

\* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

平均正答率は全国と比較して

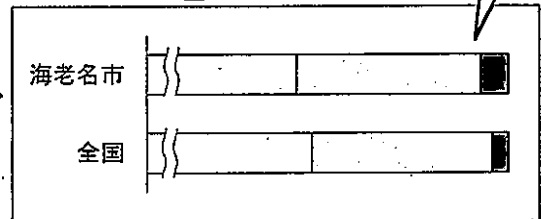
### 《平均正答率(%)》

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
理科				

誤答の様子は…

### 《誤答の内訳(%)》

- 正答
- 誤答(書いたが誤答だった)
- 無解答(何も書かなかった)



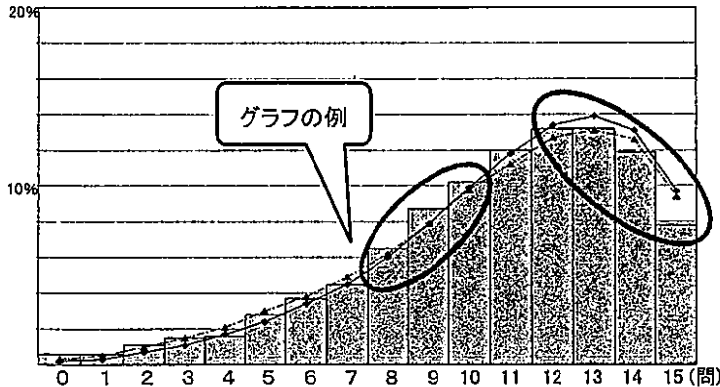
グラフの例-

無解答率(何も書かなかった)は %でした。

分布の様子は…

### 《正答数による分布》

海老名市 (点線) 神奈川県 (三角) 全国 (線)



全国と比較すると  
正答数が 問の生徒が多く  
問以上の生徒が少ない  
ことがわかります

\* 正答率50%以下(0~ 問)の生徒の割合は %でした。(全国は %)

\* 正答率80%以上( ~ 問)の生徒の割合は %でした。(全国は %)

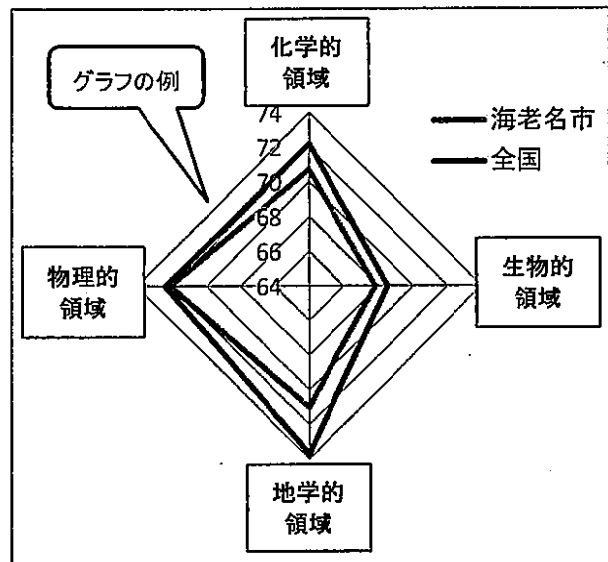
## 領域別の正答率

全領域において全国と比較して

	海老名市	全国	全国との比較
物理的領域			
化学的領域			
生物的領域			
地学的領域			

\* 「 」については、

\* 「 」については、



## 内容について

\* ( )内は、平均正答率の全国との比較

全国を上回った 項目		全国を下回った 項目	
---------------	--	---------------	--

理科で平均正答率が全国を下回った設問の例

Blank area for examples of questions where the average correct rate in Science was lower than the national average.

☆理科のすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

## 考察

- ◆
- ◆
- ◆

## 指導の改善にむけて

- ◆ 「  
○  
○
- ◆ 「  
○  
○

」ために

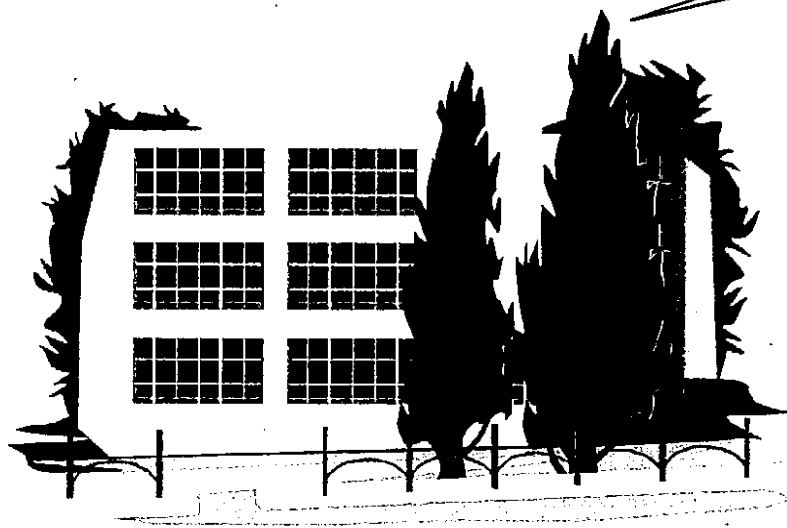
」のために

平成27年9月24日  
定例教育委員会資料  
教育指導課教育指導係

平成27年度

# 全国学力・学習状況調査の 結果について

イラストは各校で  
変えてください。



海老名市立〇〇小学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 4
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 5
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 6
(資料) 指導や学習・生活習慣と学力との関係	P. 7

イラストは各校で  
変えてください。  
(他のページも)



# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

なお、今年度実施された「理科」については、3年に一度実施されるものです。

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・小学校第6学年
- ・中学校第3学年

## ◆ 調査内容

### (1) 教科に関する調査

#### 【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

#### 【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

### (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

### (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成27年4月21日(火)



# 国語に関する調査結果

## 国語 A (主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

○

○

## 国語 B (主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

○

○

○ページ内の文言・様式については、学校裁量で  
変更することができる。  
○保護者にとって、分かりやすい表現にする。

《努力を要する所》

○

○

《努力を要する所》

○

○

## 今後の具体的な取組

○

○



# 算数に関する調査結果

**算数 A**  
(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

○

○

**算数 B**  
(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

○

○

○ ページ内の文言・様式については、学校裁量で変更することができる。  
○ 保護者にとって、分かりやすい表現にする。

《努力を要する所》

○

○

《努力を要する所》

○

○

**今後の具体的な取組**

○

○



## 理科に関する調査結果

### 《優れている所》

○

○

- ページ内の文言・様式については、学校裁量で変更することができる。
- 保護者にとって、分かりやすい表現にする。

### 《努力を要する所》

○

○

### 今後の具体的な取組

○

○





# 児童質問紙の結果より

## 学習について

《よかった所》

○

○

《課題と思われる所》

○

○

## 生活について

《よかった所》

○

《課題と思われる所》

○

○

○このページの表記の仕方は、数値を使って具体的に記述してもよい。

## 今後の具体的な取組

○

○



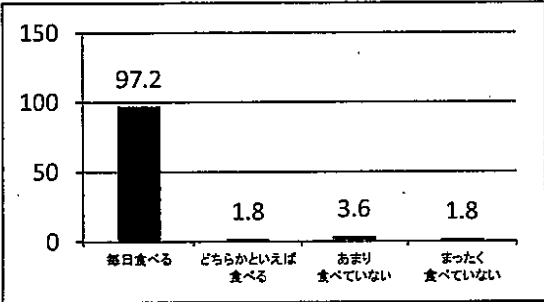
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 ○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○しましょう。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

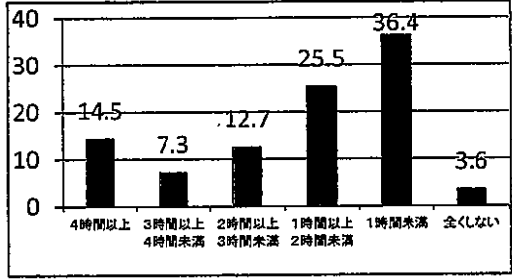
朝食を毎日食べていますか。



2 ○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○しましょう。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

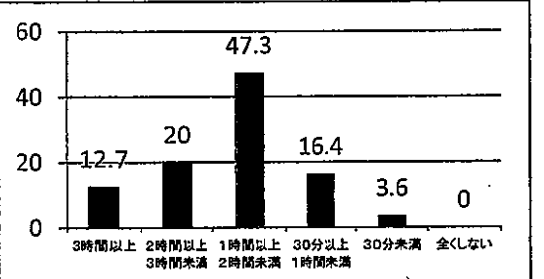
普段一日どれぐらいの時間ゲームをしますか。



3 ○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○しましょう。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

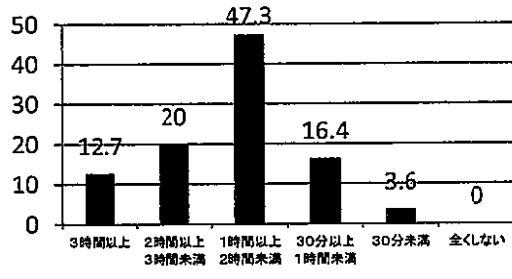
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○



4 ○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○しましょう。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

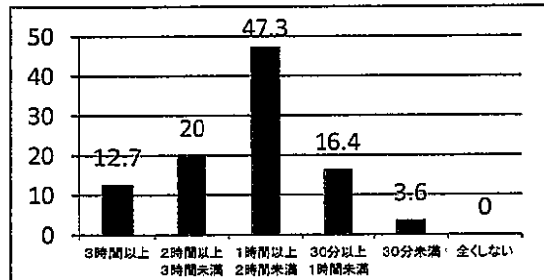
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○



5 ○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○しましょう。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

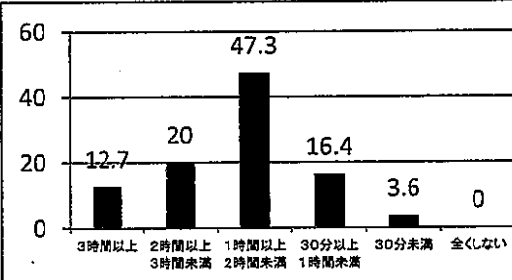
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○



6 ○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○しましょう。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○



## 資料 指導や学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ており、今後の指導や家庭・地域への呼びかけに生かして行きたいと考えています。

### 学校における指導と学力との関係

次のような指導を行った学校ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。  
さらに、学習意欲や家庭での学習時間等についても高い傾向にある。  
(教科に関する調査、学校質問紙調査より)

### 児童の学習・生活習慣と学力との関係

次のような児童ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。  
(教科に関する調査、児童質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

#### 【指導方法・学習規則】

- ・ 学習規律(私語を減らすなど)を向いて聞く
- ・ 学習方法(適切な学習方法を振り返って指導)
- ・ 学級全員で取り組む学習やテーマを与えて取り組む
- ・ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導

#### 【国語科・算数科の指導方法】

- ・ 発展的な学習の指導
- ・ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業、書く習慣を付ける授業、様々な文章を読む習慣を付ける授業
- ・ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業

#### 【言語活動】

- ・ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付ける
- ・ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導
- ・ 発言や活動の時間を確保した授業
- ・ 学級やグループで話し合う活動
- ・ 資料を使って発表ができるよう指導
- ・ 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導

#### 【総合的な学習の時間】

- ・ 総合的な学習の時間における探究活動(課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導)

#### 【家庭学習】

- ・ 調べたり文章を書いたりする宿題を与える

#### 【研修】

- ・ 教職員が、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映

・ 文部科学省の説明会を受け、平成27年度の資料を載せます。

次・態度が高い

学習時間が長い

学習をする

、学校や地域

#### 【学校生活】

- ・ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・ 先生は、自分のよいところを認めてくれると思う

#### 【基本的な生活習慣】

- ・ 朝食を毎日食べる
- ・ 毎日、同じぐらいの時刻に寝る

#### 【メディアとの関係】

- ・ 携帯電話やスマートフォンで通話・メール・インターネットをする時間が短い
- ・ テレビゲームをしている時間が短い

#### 【家庭でのコミュニケーション等】

- ・ 家の人と学校での出来事について話をする
- ・ 家的人是、授業参観や運動会などの学校行事に来る

#### 【社会に対する興味・関心】

- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある
- ・ 新聞を読んでいる
- ・ テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る

#### 【自尊意識・規範意識】

- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・ 学校のきまり・規則を守っている
- ・ 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う



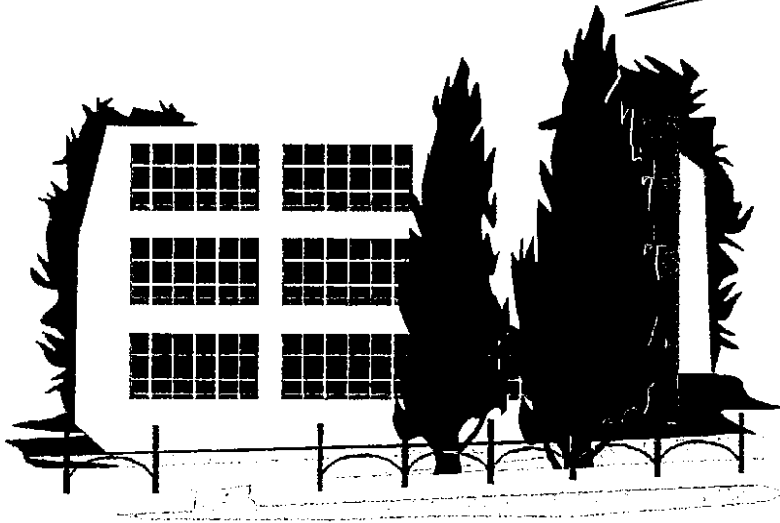
平成27年11月

平成27年 9月24日  
定例教育委員会資料  
教育指導課教育指導係

平成27年度

# 全国学力・学習状況調査の 結果について

イラストは各校で  
変えてください。



海老名市立〇〇中学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「数学に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 4
「生徒質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 5
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 6
(資料) 指導や学習・生活習慣と学力との関係	P. 7

イラストは各校で  
変えてください。  
(他のページも)



# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

なお、今年度実施された「理科」については、3年に一度実施されるものです。

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・小学校第6学年
- ・中学校第3学年

## ◆ 調査内容

### (1) 教科に関する調査

#### 【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

#### 【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

### (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

### (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成27年4月21日(火)



# 国語に関する調査結果

## 国語 A (主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

○

○

## 国語 B (主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

○

○

○ ページ内の文言・様式については、学校裁量で変更することができる。  
○ 保護者にとって、分かりやすい表現にする。

《努力を要する所》

○

○

《努力を要する所》

○

○

## 今後の具体的な取組

○

○





# 数学に関する調査結果

## 数学 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

○

○

《努力を要する所》

○

○

## 数学 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

○

《努力を要する所》

○

○

- ページ内の文言・様式については、学校裁量で変更することができる。
- 保護者にとって、分かりやすい表現にする。

## 今後の具体的な取組

○

○



## 理科に関する調査結果

### 《優れている所》

○

○

- ページ内の文言・様式については、学校裁量で変更することができる。
- 保護者にとって、分かりやすい表現にする。

### 《努力を要する所》

○

○

### 今後の具体的な取組

○

○



# 生徒質問紙の結果より

## 学習について

《よかった所》

○

○

《課題と思われる所》

○

○

## 生活について

《よかった所》

○

○このページの表記の仕方は、数値を使って具体的に記述してもよい。

《課題と思われる所》

○

○

## 今後の具体的な取組

○

○



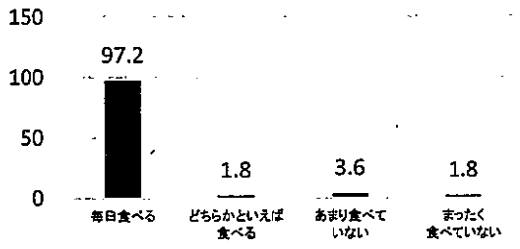
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 ○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○しましょう。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

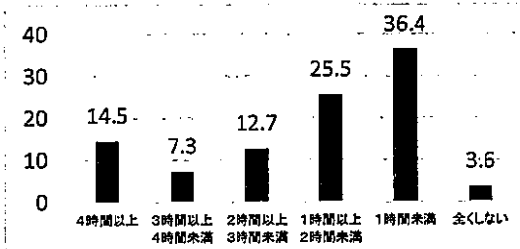
朝食を毎日食べていますか。



2 ○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○しましょう。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

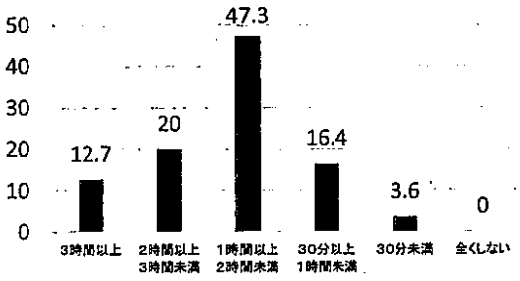
普段一日どれぐらいの時間ゲームをしますか。



3 ○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○しましょう。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

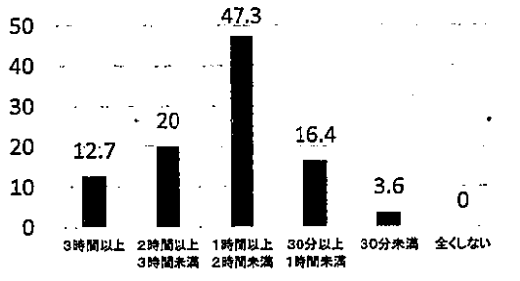
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○



4 ○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○しましょう。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

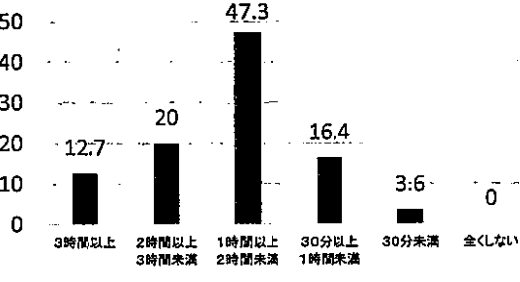
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○



5 ○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○しましょう。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

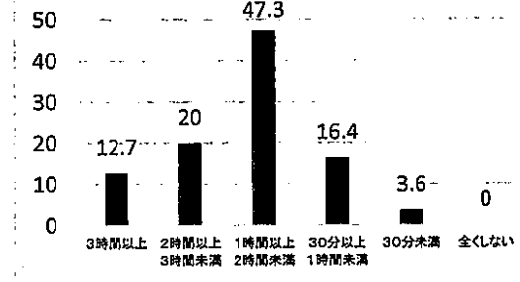
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○



6 ○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○しましょう。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○



文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ており、今後の指導や家庭・地域への呼びかけに生かして行きたいと考えています。

### 学校における指導と学力との関係

次のような指導を行った学校ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。さらに、学習意欲や家庭での学習時間等についても高い傾向（教科に関する調査）

#### 【指導方法・学習規律】

- ・ 学習規律（私語をし方を向いて聞くなど）
- ・ 学習方法（適切にノートを振り返って学習）
- ・ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与える
- ・ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導

#### 【国語科・数学科の指導方法】

- ・ 発展的な学習の指導
- ・ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業、書く習慣を付ける授業、様々な文章を読む習慣を付ける授業
- ・ 数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業

#### 【言語活動】

- ・ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付ける
- ・ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導
- ・ 発言や活動の時間を確保した授業
- ・ 学級やグループで話し合う活動
- ・ 資料を使って発表ができるよう指導
- ・ 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導

#### 【総合的な学習の時間】

- ・ 総合的な学習の時間における探究活動（課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導）

#### 【家庭学習】

- ・ 調べたり文章を書いたりする宿題を与える

#### 【研修】

- ・ 教職員が、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映

### 生徒の学習・生活習慣と学力との関係

次のような生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。（教科に関する調査、生徒質問紙調査より）

・ 文部科学省の説明会を受け、平成27年度の資料を載せます。

- ・ 読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

#### 【学校生活】

- ・ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・ 先生は、自分のよいところを認めてくれると思う

#### 【基本的生活習慣】

- ・ 朝食を毎日食べる
- ・ 毎日、同じぐらいの時刻に寝る

#### 【メディアとの関係】

- ・ 携帯電話やスマートフォンで通話・メール・インターネットをする時間が短い
- ・ テレビゲームをしている時間が短い

#### 【家庭でのコミュニケーション等】

- ・ 家の人と学校での出来事について話をする
- ・ 家的人是、授業参観や運動会などの学校行事に来る

#### 【社会に対する興味・関心】

- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある
- ・ 新聞を読んでいる
- ・ テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る

#### 【自尊意識・規範意識】

- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・ 学校のきまり・規則を守っている
- ・ 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う



平成27年11月